

レクリエーションのご案内

絵画教室

日時：3月8日(水) 14:00~15:00
場所：みやま工房 事務棟 2階 会議室
参加費：200円 材料費等
絵を描くことが好きな人、初心者だけど絵を描いてみたい人など、気軽に参加できます。



法人からのご案内

こころの健康相談

3月の「こころの健康相談」は下記の日程で、行います。相談を希望される方は、事前に予約が必要です。職員までお申込み下さい。

日時：3月24日(金) 11:00~12:00
場所：みやま工房 2階 会議室
担当者：柳沢温子先生 (田中病院勤務)



新年度(平成29年)度賛助会員募集中!

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

法人の最新情報は下記のホームページでご覧になれます!

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営施設 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
多機能型事業所(生活訓練・就労継続支援B型)「ワークハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2017年
3月号

工賃向上を目指し、積極的に施設外就労に取り組んでいます!

当法人では、就労支援の一環として施設外就労に積極的に取り組んでいます。施設外就労とは、協力企業様へ6名程度の利用者さんとサポートをする職員がユニットを組んで出向き、企業様の一角にて作業を請け負う就労支援です。施設を離れ、社会の中で実践的な就労体験ができ、また、請負う仕事の内容によっては高い工賃も期待できます。

これまで、当法人では玉ねぎの皮むき作業、病院の日常清掃、高齢者施設の清掃、旅館の客室清掃、舞茸の加工作業、レアメタルリサイクル、喫茶業務などにチャレンジをしてきました。現在も、旅館の客室清掃、レアメタルリサイクル、喫茶業務は「みやま工房」で継続して実施しており、参加する利用者さん達の姿はとも自信に満ちています。

平成29年度の事業計画においても、就労支援を行う「みやま工房」、「キッチンハウスみやま」、「ワークハウスみやま」の重点目標として施設外就労先の確保が挙げられています。そうした中、「ワークハウスみやま」では、4月からの正式な委託契約を目指し発砲スチロールやペットボトルのリサイクルに関わる仕事についてチャレンジをしています。



玉ねぎの皮むき



病院の日常清掃



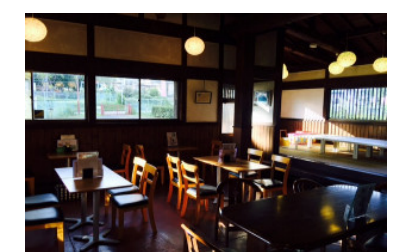
旅館の客室清掃



舞茸の加工作業



レアメタルリサイクル



喫茶業務

これからチャレンジする発砲スチロール・ペットボトルのリサイクル



平成 29 年度特定非営利活動法人山脈事業計画策定中

今年度も年度末を迎え、4月から始まる平成 29 年度に向け特定非営利活動法人山脈の事業計画を策定する時期となりました。

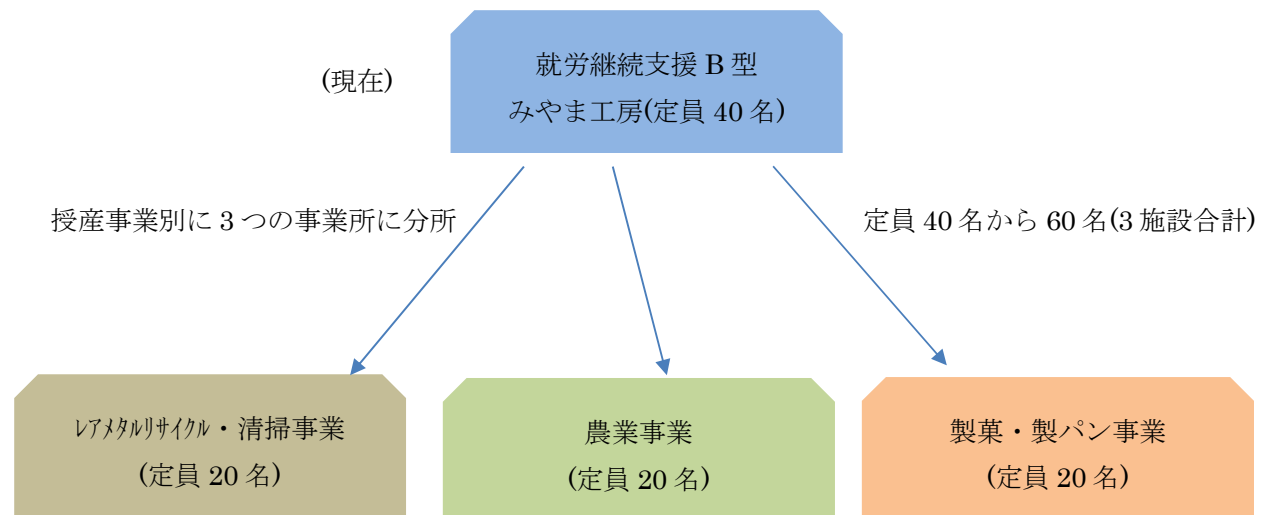
法人設立後 14 年目を迎える「山脈」は、平成 26 年度から始まった第 2 次 10 年計画の中期を迎えます。前期となる昨年は、28 年度の目標として事業の拡大による経営の安定化と次世代の担うリーダー育成について掲げ、就労支援系の事業所として、2カ所の事業所の立ち上げと、新たなグループホーム 1 棟の開所を計画しました。結果的には、昨年 4 月、グループホーム「ハーモニーやまなみ 6 号」の開所、更には 10 月には「就労継続支援 B 型」と「生活訓練」の 2 つの福祉サービスを提供する多機能型事業所「ワークハウスみやま」に開所し、一定の成果を見る事が出来ました。

29 年度は、昨年に引き続き、就労支援系の事業所を 2カ所、グループホームを 1 棟の開所を目標に掲げ、事業の拡大を図りたいと思いますので「山脈」の活動にご注目下さい。

以下、策定中の平成 29 年度事業計画案の一部をご覧下さい。

平成 29 年度 特定非営利活動法人山脈 事業計画(案)

- ・みやま工場の分所化による新規事業所の 3 事業所の立ち上げ



※場所、建物等について吟味中。29 年度中の分所化を模索中。

- ・新たなグループホーム「ハーモニーやまなみ 7 号」の開所

入居者の高齢化、夜間支援の必要性など、新たな課題に対応する新グループホーム(定員 7 名)の開所を模索。

1 号～6 号(定員 37 名)から 7 号(7 名)の開所で定員増を図ることで地域生活移行の推進に寄与。

- ・各種委員会の設置による職員育成

職員により構成される 6 つの委員会を設置し、法人運営、事業所運営に携わることで次世代のリーダーの育成を図る。

※次頁の運営組織(案)を参照

